

令和2年9月9日

杉並区議会議長
井口 かづ子 様

災害対策・防犯等特別委員会
委員長 金子 けんたろう

災害対策・防犯等特別委員会活動経過報告書

災害対策・防犯等特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

記

1 令和2年6月11日

(1) 報告聴取

ア 杉並区災害時受援・支援計画（人的編）の策定について

(ア) 目的

国や都、他自治体、各防災協定締結団体等からの人的支援を効率的に受け入れ、効果的に活用するための体制や手順等を整理することで、迅速かつ円滑な被災者支援を実現することを目的として策定した。

(イ) 方針

主要項目として「受援体制の整備」「受援対象業務の選定」「応援要請の手順化」「支援体制の整備」の4つの柱を定めた。

(ウ) 計画の概要

「受援体制の整備」では、災対総務部受援班、災対各部庶務班、災対各班の受援に対する役割を明確化した。また、災対各部庶務班及び災対各班には受援担当者を設置し、受援ニーズや応援職員の受け入れなど体制の整備を行った。

「受援対象業務の選定」では、業務継続計画（震災編）で定めた非常時優先業務308業務及び発災後1週間以降に再開する通常業務67業務を対象に行った調査の結果、112の業務で応援職員等の受援が必要であると判明したため、人的支援の受援体制構築を目的として業務概要等を検討し、受援業務シート及び受援フローに整理した。

「応援要請の手順化」では、応援要請先ごとに法的根拠や概要を整理したほか、応援要請の受入れから応援終了までの手順を検討し、応援団体別に概要フローを作成した。

「支援体制の整備」では、スクラム自治体や協定締結団体以外の自治体が被災した場合に、人的及び物的支援を行う支援体制を構築するとともに、区が支援を行う場合の携行品を選定、整備した。

(エ) 経過等

令和元年 12 月 19 日

～令和 2 年 1 月 24 日 杉並区防災会議及び防災関係機関への意見照会

令和 2 年 3 月 24 日 杉並区防災会議へ諮問

令和 2 年 8 月以降 杉並区災害時受援計画（物流編）と統合した計画書を各防災会議委員及び防災関係機関・区議会等関係者に配布予定

イ 令和元年（平成 31 年）度水防活動状況について

(ア) 期間

平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

（初回：令和元年 5 月 4 日 最終：令和 2 年 1 月 28 日）

(イ) 配備態勢等

- ・ 配備回数 13 回（情報連絡態勢 10 回、都市型災害対策緊急部隊 1 回、水防出動配備態勢 2 回）
- ・ 総従事者数 374 人
- ・ 避難所開設 3 回（計 20 か所）、避難者数合計 848 人

ウ 令和 2 年度水防訓練について

今年度の水防訓練は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、消防署との合同水防訓練は中止とし、代替の訓練を下記のとおり実施する。

(ア) 応急対策部（土木担当部）による実地訓練

水害発生の危険性の高い地域において、警戒箇所の確認や被害状況の報告訓練などを行う。また、水防資器材（土のう・排水ポンプ等）の要請に対応するため、資器材の点検や確認、運用訓練を行う。

日時：令和 2 年 6 月下旬（予定）

参加者：土木担当部 50 名程度

(イ) 水害応急対策室立ち上げ訓練

水害応急対策室を立ち上げ、本部に寄せられる要望や被害情報等を迅速かつ適切に伝達できるように通報連絡訓練を行う。

日時：令和 2 年 7 月上旬（予定）

参加者：防災課、土木担当部 30 名程度

(ウ) その他

消防署と意見交換を行い、今後の水防活動の連携強化を図る。